

岩見沢聖十字幼稚園 関係者 評価 (1)

評価年月日 平成31年2月14日

評価者氏名 瀧澤聡 (北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科)

【園長の自己評価について】

本評価は、A (十分に達成されている) ,B (達成されている) ,C (取り組まれているが、成果が十分でない) ,D (取り組みが不十分である) の4択であった。全評価54項目中、Aが46項目、Bが8項目であり、CとDが0項目でした。このことは、基準が達成されているということなので、特に意見はないです。

この評価が維持またはBの項目がAに移行できるように、無理のないような形で実現されることを期待しています。

【教職員の自己評価について】

本評価は、A (おおむね良い) ,B (ふつう) ,C (あまりできていないので、一部検討を要する)、空 (不明) の4択でした。全評価87項目中、Aの最多項目が65項目、Bの最多項目が22項目であり、Cと空が最多項目となることはありませんでした。職員の評価に関して、「保育の計画性」「保育の在り方、幼児への対応」「保育者としての資質」「保護者への対応」は、Aが多くBがそれに次ぐという結果であり、一方で「地域の自然や社会とのかかわり」「研修と研究」では、Bが多くAがそれに次ぐという結果でした。そして、このことを詳細に見ていくと、Cまた空の回答した数は、1割から2割程度増える傾向にありました。このことは、例年と同様の傾向であり、「地域の自然や社会とのかかわり」と「研修と研究」に関して、Bの回答数を超えることが依然として厳しい状況にあることが伺えます。教職員の研修機会の向上と内容の充実等が促されるようにしていく必要があると思われました。

【保護者のアンケート結果について】

今後の検討課題と保護者に理解を求める点が、明確でとてもわかりやすいと感じました。具体的には、保護者の方々の疑問等について、それに対応するために幼稚園としての理由を明確に述べており、謙虚に願いを伝えるという方法は、第三者が読んでも安心できます。これは、聖十字幼稚園の良き文化であると思えます。これからもこのように誠実かつ謙虚にそしてぶれない対応が多く地域における支持者を得ることにつながっていくと思われまます。

【本園の自己評価について、上記記述以外のご意見、ご感想がありましたらご記述下さい】

どの子ども大切にされる保育をめざして、本年の園長先生はじめ、教職員が保育の力量を向上させるべく日々努力されています。時々園に入っかかかわっている者として、このような彼らの姿を認めざるを得ません。その熱心さと態度には敬服しております。来年度も今年度以上に、どの子ども大切にされながら、日々の保育が展開されることでしょう。